

令和7年度 自己評価計画書

								石川県立医王特別支援学校	
重 点 目 標		具体的取組		主担当	現 状	評 価 の 観 点	実現状況の達成度判断基準	判 定 基 準	備 考
(1)	授 業 実 践 力 と 専 門 性 の 向 上	①	教科の見方・ 考え方の視点 を意識した授 業作り	教務課	病弱特別支援学校、肢体不自由特別支援 学校での勤務経験が短い、教員の割合が 増えている。また、個別に行う授業が多 く、同僚間で授業評価をすることが難し い状況にあるので、各自の授業実践を共 有し、児童生徒の病種や発達段階に応じ た授業作りを行う必要がある。	【努力指標】 同僚間で実態把握の方法や授業実践など を共有し、病種や発達段階に応じた授業 作りを行うことができる。	授業実践等を共有する中で、授業の工夫・改善に取り組ん だ授業が2つ以上行った教員の割合が A：80％以上 B：70％以上 C：60％以上 D：60％未満	B以上で達成  C、Dの場合は工夫改善を 図る。	中間・年度末にアンケー トを実施 【評価対象】 教員
		②	指導実践の共 有	病棟訪問教育 小中高 教頭	コロナ禍以来、保護者が直接病棟で授業 参観ができるようになったが、時間制限 がある。限られた時間の参観において、 保護者が満足できる授業実践に努めるこ とが必要である。	【満足度指標】 授業参観において、保護者が、児童生徒 の実態にあった授業ができていていると感 じられる実践を行う。	授業参観時における3項目のアンケート結果をもとに、 個々の実態に応じて教材や支援の工夫等がされて、満足し ている保護者の割合が A：3項目が90％以上 B：2項目が90％以上 C：1項目が90％以上 D：全てが90％未満	B以上で達成  C、Dの場合は工夫改善を 図る。	授業参観後にアンケー トを実施 【評価対象】 保護者
		③	ICT 活用能力 の向上	総務課	本校の教育実践において、病弱の児童生 徒の特性を踏まえて、指導等に必要な ICT を活用するために、教員のスキルア ップが課題である。	【努力指標】 GIGA に関するスキルチェックと研修希 望調査をもとに、研修内容を検討し、全 職員の ICT 活用能力の向上を図る。	教職員を対象として、5月と1月のGIGA のスキルチェック をもとに、 A：1／2以上の教員のポイントがあがった B：1／3以上の教員のポイントがあがった C：1／4以上の教員のポイントがあがった D：1／5以上の教員のポイントがあがった	B以上で達成  C、Dの場合は工夫改善を 図る。	5月と1月にアンケー トを実施 【評価対象】 教員
(2)	安 心 安 全 な 学 校 づ くり	①	安全防災対策 の充実	指導課 防災担当	昨年度は、本校の地震に対する安心安全 対策について、児童生徒・保護者にHP や校内掲示物等を活用し周知した。教員 に対しても研修会を実施し、防災に向け 意識を高める取り組みを行った。今年度 は新たに防災教育年間計画を立案し、計 画に沿って防災教育を実施する必要があ る。	【努力指標】 防災計画に沿った防災教育を実施し、年 度末には計画の見直しを行う。	防災教育年間計画を立案し、新たに防災に関する授業や 講話を企画・実施した回数が A：年間3回以上 B：年間2回 C：年間1回 D：できなかった	B以上で達成  C、Dの場合は工夫改善を 図る。	年度末調査 【評価対象】 指導課教員
(3)	業 務 の 効 率 化	①	効率的校務処 理の推進	教頭	昨年度、業務のデータファイルの整理を 一部行ったが、データの管理や手順表、 案内等の電子化についてはまだまだ課題 がある。スムーズな業務の遂行や効率化 を図るためにも、見直しを行う必要があ る。	【成果指標】 各課等におけるデータファイルの管理や 案内等の電子化、手順書の見直しを行い、 効率的な校務処理に向けて改善する。	各課等において業務内容の課題を上げて共通理解を図り、 効率的に校務処理を行うため、データファイルの管理や電 子化、手順書やファイル等の見直しなどの見直しを行った 課が A：全ての課 B：2つの課 C：1つの課 D：ない	B以上で達成  C、Dの場合は工夫改善を 図る。	中間・年度末調査 【評価対象】 各課長